

生研 ニュース

谷(安)教授歸任

前月號のニュースでお伝えしたように、去る9月14日から22日までパリにおいて開催された国際電子顕微鏡會議に出席した本所谷安正教授は18日同會議の席上で日本における電子顕微鏡およびその應用研究の現況について概略の紹介を約20分にわたって行った。さらに本會議に日本から提出されている論文が會議のプログラムに掲載されていなかったため、各論文の題目と執筆者を一週り紹介されるなど種々の任務を果たして11月5日夜半空路羽田に到着された。なお同7日には大阪の電子顕微鏡學會で歐米の電子顕微鏡の現況を紹介し、8日阪大工學部における應用物理學會關西支部の會合席上では、フランスの應用物理學界について所見をのべた。

松下助教學術用語改訂原案完成

本所松下助教は文部省學術用語分科會議専門委員として約1年間術語改訂の原案作製に當りこのほどほぼ完成した。また昭和25年11月8日付日本經濟協會々誌編集委員を委嘱された。

一踏 演一

- ◇教授 坪井善勝「鋼筋コンクリート造學校建築の構造」文部省主催 東京、名古屋、福井において(1950-9)
- ◇講師 河添邦太郎「吸着塔の設計」化學機械協會講習會(1950-9-5)
- ◇教授 永井芳男「鉄線 微量有機合成法について」日本化學會關東支部常會(1950-9-30)
- ◇助教 山本寛「充層層における物質移動(陰イオン多量層膜充層層の理論)」(同上)
- ◇助教 石井鶴雄 山下雄也「2,5-ジオキシメチルテトラヒドロフランおよびそのエステル合成」(同上)
- ◇教授 久保田廣「鏡色について」日本物理學會、應用物理學會、連合會、固體表面および薄膜分科會(1950-10-8)
- ◇教授 久保田廣「薄膜の干渉色について」(同上)
- ◇教授 久保田廣、大學院學生 江木司「不均質反射防止膜の製作」(同上)

- ◇助教 小川岩雄、大學院學生 中田一郎、瀧家忠義「振動容量電位計の真空中作動について」(1950-10-8)
- ◇助教 小川岩雄、大學院學生 中田一郎、瀧家忠義「金屬蒸着面の表面電位」(同上)
- ◇助教 高橋安生、助手 松澤喜一郎「真鍮の振動彈性の測定」應用物理學會(同上)
- ◇助教 高橋安生、古谷藤美、助手 藤森聰雄「固體中の超音波の測定」(同上)
- ◇教授 福田義民 講師 河添邦太郎「吸着塔に関する研究」化學機械協會年會(1950-10-19)
- ◇教授 福田義民、渡邊 仁、川堀 弘「サイクロン脱塵機の研究」(同上)

一書 稿一

- ◇助教 小川岩雄 教授 熊谷寛夫「計數管の放電機構」日本物理學會誌第5巻 第1號(1950)
- ◇大學院學生 寺尾三三「蒸着金屬の密度分布に関する一つの模型の實驗について」應用物理 第19巻 第5號(1950)
- ◇教授 谷一郎「亂流の基礎概念」機械の研究 第2巻 第6號(1950-6)
- ◇教授 坪井善勝「鋼筋校舎の構造計算と平面計算」建築雜誌(1950-6)
- ◇教授 谷一郎「等方性亂れの理論」日本物理學會誌 第5巻 第4號(1950-7-8)
- ◇教授 坪井善勝他3名「垂直荷重をうける無梁版の境界の影響」建築學大會論文集(1950-8)
- ◇教授 谷一郎「野球のカーブについて」科學 第20巻 第9號(1950-9)
- ◇教授 永井芳男「シアノ化及カップリング」化學工業(1950-9)
- ◇教授 久保田廣「位相差顕微鏡は眞をつたえるか」科學(1950-9)
- ◇教授 坪井善勝他3名「セメントガンの研究と實施報告」建築雜誌(1950-10)
- ◇講師 東畑平一郎「微粉鐵の焙燒理論(その1)」硫炭(1950-11)

一兼 任一

- ◇教授 藤野亮 文化財保護委員會事務局 保存部建造物課長(1950-9-15)

編集後記

◇この雑誌も明けて芳紀まさに3才になった。俄かに冬めいた七五三のひるさがりにこれをしたためるのも巧みな廻り合わせである。お下げ姿の童女が、この1年も讀者に愛されて、すくすくと千歳までも成長する。もう私共も何とでもして、もり育てていきたい。

◇新春第1號は暫くぶりて普通號の體裁をとつた。口繪は當所の新鋭電子顕微鏡の成果の一端で飾られている。瀬藤所長、谷安正教授以下氣鋭の技術陣が諸賢のご利用をまつている。どしどし活用して頂きたい。

◇本文は藝術あり、その科學的メスもあり、金屬、スペクトルも含まれ警

世に放談に多彩な顔ぶれであろう。日進月歩の研究のプロフィールが速報にのぞいている。この號にはきまつたテーマの道はつけなかつたが、當所の有能の士の廣い研究域から現場にアピールする姿を汲んで頂きたい。基礎データをしつかり掴んでいるから、必ずや相互に交流できるであろうから、相共に再び新鮮なスタートにかえつて、古い反省を抱きながらこの國をもり育てて行こう。(Y. M.)

技術史ノート

本號に限り都合により休みました。

編集委員

- 編集委員長 星 合 正 治
- 編集委員 三木五三郎 宮津 純
- 元良 誠三 丹羽 登
- 星野 昌一 *濱口 隆一
- 浅原 照三 *松下 幸雄
- 小川 正義 江口 雅彦
- 森 大肯郎 小瀬 輝次
- 藤森 榮二

- 編集幹事 下村潤二郎
- 編集室 水野晴明

(* 印は當番委員)

予約申込
本誌は性質上市販僅少につき直接發行所宛に予約ねがいます。

一年分 840 圓
半年分 420 圓
予約の方の送料は本社負擔

第3巻第1號 生産研究 定價 70 圓(郵税 3 圓)
1950年12月25日印刷 1951年1月1日發行

編集者 星 合 正 治
東大生産技術研究所
千葉市千葉局内彌生町
電話 千葉 366-370

印刷者 井 關 好 彦

印刷所 大同印刷株式會社
東京都千代田區神田錦町 3-1

發行所 株式會社 誠 文 堂 新 光 社
東京都千代田區神田錦町 1-5
電話 神田 (25) 2126-2130
振替 東京 6294・6567